



名古屋市立大学大学院理学研究科がおおくりする

コーヒー片手に 身近なサイエンスの集い



サイエンスカフェ イン 名古屋

<https://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/>

第155回

2024年

9/6(金)

午後6～8時

確率論へようこそ:

賭け事からの数理モデルの歴史

話題提供者: 佐久間 紀佳 氏

名古屋市立大学大学院理学研究科・准教授
専門: 解析学

場 所 : 「サクラサイドテラス」(SAKURA SIDE TERRACE)

名古屋市立大学桜山(川澄)キャンパス西棟1階

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 (裏面の地図を参照)

喫茶代 : 実費(1000円: ドリンク + フルーツ・ケーキ)

定 員 : 30名程度(予約優先です。空席があれば当日参加も可能ですが、先着順となります。)

お申し込み

右下のQRコードから、
オンラインにてお申込ください。

参加申込フォーム



または、お名前、ご希望の開催日を、下記いずれかにてご連絡ください。

電子メール: scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp

電話: 052-872-3461 (山の畑事務室 ※平日のみ)

申込期限: 2024年9月3日(火)

お話のあらすじ

確率論はフェルマーとパスカルのとある賭け事について手紙のやり取りに端を発すると言われています。現在では偶然現象に対して数学モデルを与えて解析を行う分野として基礎づけられ、具体的な偶然現象を多く巻き込み、また先端的な数学的道具を取り入れ「雑食的」に発展してきています。現代的な確率論では伝染病の伝播のモデルや株価変動のモデルなどを精緻な解析学から作っています。今回は(1)確率論の発展を簡潔に解説する、(2)組み合わせ論的な側面で解説できる話題を紹介、をできたらと思います。

